

# POWER BOOK 2016

関西電力会社案内



## ごあいさつ

私ども関西電力グループは、2016年5月に創立65周年を迎えました。折りしも、本年4月から電力の小売全面自由化がスタートし、来年にはガスの小売全面自由化が予定されるなど、競争が本格化する一方で、事業領域・エリアの拡大は、当社グループにとって好機でもあります。

こうした環境変化に積極的に対応し、長期にわたり持続的に成長していくため、本年3月に今後の当社グループのあり方を示す「経営理念」「私たちの基本姿勢」「関西電力グループビジョン」を新たに策定し、あわせて当社グループの企業姿勢や提供価値を端的に表すブランドステートメントを「power with heart」と決めました。

当社グループの全員が「power with heart」に込めた「まごころと熱意を込めたサービスで、お客さまや社会の『力』になりたい」との想いを胸に刻み、お客さまや社会の皆さまから信頼され、選ばれて成長することで、エネルギー分野における日本のリーディングカンパニーを目指してまいります。

また、「関西電力グループビジョン」のありたい姿の実現に向けて、本年4月に新たに策定した「関西電力グループ中期経営計画(2016-2018)」を、即断即決のスピード経営により、必ず成し遂げてまいります。

とりわけ、安全性が確認された原子力プラントの再稼働はもとより、関西地域における料金メニュー・サービスの拡充や、首都圏を中心とした関西域外への本格参入、家庭分野を含むガス事業の積極展開等による「総合エネルギー事業の競争力強化」、さらには、国際・グループ事業といった「新たな成長の柱の確立」など、グループ全体の持続的成長に向けて、挑戦し続けてまいります。

今後とも、皆さまからの信頼を賜り、ご期待にお応えできますようグループ一丸となって、一歩一歩前進してまいりますので、格別のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 **岩根茂樹**



## 関西電力グループ理念体系

当社は、「お客さまと社会のお役に立ち続ける」ことを創業以来の使命として、

お客さまの立場に立った経営を推進してまいりました。

こうしたなか、2016年4月に電力の小売全面自由化が実施されるなど電気事業を取り巻く環境が大きく変化し、

一方で、2017年にはガスの小売全面自由化が予定されるなど、事業機会が拡大しています。

このエネルギー新時代ともいべき大きな変革期を迎えるにあたり、新たな経営環境に果敢に挑戦し、

当社グループが持続的に成長していくため、このたび、今後の当社グループのあり方を示す

「経営理念」「私たちの基本姿勢」「関西電力グループビジョン」を新たに策定しました。

### 経営理念

経営の基本的な目的、経営姿勢を表す  
当社グループの最上位の概念です

私たち関西電力グループは、安全最優先と社会的責任の全うを経営の基軸に位置づけ、「お客さまと社会のお役に立ち続ける」ことを使命に、明るく豊かな未来を実現し、ともに歩んでいきます。

### 関西電力グループビジョン

当社グループがめざす将来のありたい姿を示すものであり、戦略面で経営理念の追求を支えます

お客さまの立場に立った安心、快適、便利なサービスを幅広くお届けし、くらしとビジネスのベストパートナーとして信頼され、選ばれることで、国内外において成長を続けながら、エネルギー分野における日本のリーディングカンパニーとしての役割を果たしていきます。

### 私たちの基本姿勢

当社グループと役員・従業員一人ひとりの行動を方向づける基本的な考え方を示すものであり、意識・行動面で経営理念の追求を支えます

関西電力グループは、人を大切にするという考えのもと、公正な事業活動を通じて、社会の持続的な発展に貢献します。

私たち一人ひとりは、これまで培ってきた「使命感」や「チャレンジ精神」を発揮し、良き社会人として自らの業務に最善を尽くすとともに、次の基本的責務を果たします。

[基本的責務]

安全の確保を最優先にします

CSRを確実に実践します

変わらぬ使命のために、変わり続けます

## 経営理念

ブランドステートメント  
“power with heart”

関西電力  
グループ  
ビジョン

私たちの  
基本姿勢

## ブランドステートメント

関西電力グループとお客さまや社会との約束

# *power with heart*

### ブランドステートメントに込めた意味

関西電力グループのブランドステートメント「power with heart」には、  
“まごころと熱意を込めたサービスで、お客さまや社会の『力』になりたい”  
という想いを込めています。

### デザインに込めた意味

力強く躍動感のある斜体、やわらかい印象を与える小文字と温かみを感じる  
ウォームグレーで、「power with heart」の言葉が持つ  
力強さとやさしさを表現しています。  
さらに、「新風」をモチーフにしたオレンジの曲線デザインを加えることで、  
新しい時代においても変革し続けるというグループ従業員の  
熱意を込めています。



# 事業領域

## 国際事業

関西電力は新たに国際事業本部を設立し、これまでに培った技術力やノウハウを活かしながら、海外発電事業や海外コンサルティング事業などへの参画を積極的に進めています。これらの事業では、高効率設備の活用やメンテナンスの実施によって事業価値を高め、また、相手国の電力インフラ整備や地球環境負荷低減にも貢献しています。



## 海外発電事業 (IPP事業)

1998年に日本の電力会社として初めて海外発電事業 (IPP事業) に参画して以来、各国における電気の安定供給の一翼を担っています。



## 海外コンサルティング事業

これまで培ってきた電力技術を活用し、グループ会社の(株)ニュージェックと共に、国際貢献や国際事業推進、人材育成などの観点から、海外コンサルティングに取り組んでいます。



## 総合エネルギー・一般送配電事業

エネルギーの自由化によって、他業種からの参入を含めた本格的な競争時代が始まっています。一方、自由化によって、事業領域やエリアも拡大しています。

## 電気事業

お客さまに電気を安定してお届けする。そのために関西電力では社員一人ひとりが、一貫した流れの中で仕事に取り組んでいます。長期的な視野で燃料を調達し、効率的に電気をつくること。その電気を無駄なくお届けすること。お客さまのご期待に応える商品・サービスをご提供すること。安全を最優先にそれぞれの責任を果たし、電気の安定供給に努めています。



## ガス事業

工場、商業施設等のお客さま向けに既存ガス事業者の導管を利用した都市ガス販売や、タンクローリーを利用したLNG販売等をおこなっています。また、2017年4月からのガスの小売全面自由化に伴い、ご家庭や商店等のお客さま向けに都市ガス販売を開始するほか、電気とガスにグループサービスを組み合わせた総合営業を展開していきます。



私たち関西電力グループは、これをチャンスととらえ、お客さまや社会の皆さまの多様化するニーズに応えるため、グループの総合力を活かして新たな発想で挑戦します。



燃料調達

発電

送配電

販売



## グループ事業

グループ事業では、情報通信、生活アメニティ (不動産・暮らし関連)、グループサポートの事業分野において事業を展開しています。お客さまや社会のさまざまなニーズを踏まえた商品・サービスを開発・提供し、また、電気やガスをはじめとする総合エネルギー事業とも連携することで、お客さまのくらしとビジネスをお支えます。



## 情報通信事業

FTTHサービス「eo光」や携帯電話サービス「mineo」をはじめ、お客さまにとって魅力あるサービスをご提供しています。今後も、他社や異業種とのコラボレーションなどによる新たなサービス・価値のご提案を通じ、お客さまのニーズにお応えしていきます。



## 不動産事業

2016年4月に、関電不動産グループとMID都市開発グループが統合し、新たに関電不動産開発グループが発足しました。今後は首都圏での事業拡大とともに、分譲・賃貸・フィービジネス (不動産仲介や運用管理) をバランスよく組み合わせる展開し、あらゆる不動産ニーズにお応えする「総合不動産グループ」をめざします。



幸せとつながる住まい。



## 暮らし関連事業

高齢化の進展や女性の活躍推進など、社会の動向やニーズを踏まえ、ホームセキュリティや家事代行、介護、健康管理支援といった、お客さまの暮らしに密着した事業を展開しています。今後も、安心、快適、便利な暮らしを支える高品質なサービスをお客さまのライフステージに応じ、幅広くご提供していきます。



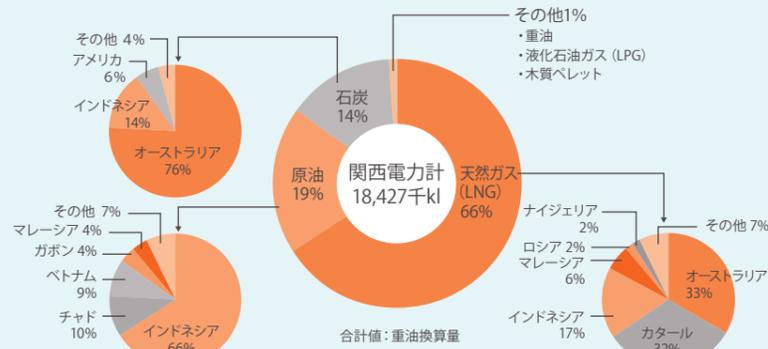
# 事業規模

## 総合エネルギー・一般送配電事業

### 燃料調達

調達先の国数 / **10カ国超**  
※2015年度実績

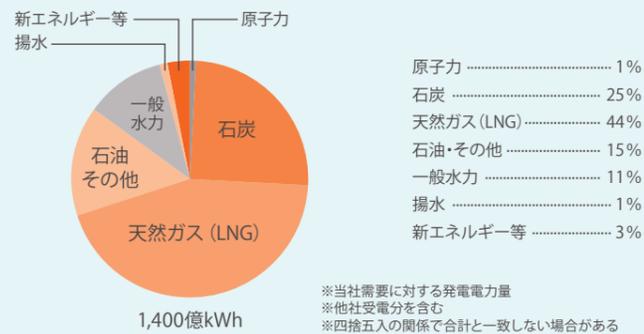
#### 火力燃料購入実績



### 発電

発電電力量 / **1,400億kWh**  
※2015年度実績

#### 電源構成 [発電電力量]



発電設備容量 / **3,657万kW**  
※2016年3月末現在

#### 発電設備容量 [電源別内訳]

火力	1,940.8万 kW	(12カ所)
水力	822.5万 kW	(152カ所)
原子力	892.8万 kW	(3カ所)
新エネルギー	1.1万 kW	(3カ所)

発電設備数 / **170カ所**  
※2016年3月末現在

※自社発電設備のみ  
※四捨五入の関係で合計と一致しない場合がある

### 送配電

送電線路の長さ(巨長) / **18,734 km**  
※2016年3月末現在

配電線路の長さ(巨長) / **131,479 km**  
※2016年3月末現在

変電所数 / **1,588カ所**  
※2016年3月末現在  
※配電塔を含む

1軒当たりの年間停電時間 / **約4分**  
※2015年度実績

### 販売

売上高 / **2兆8,682億円**  
※2015年度実績

販売電力量 / **1,275億kWh**  
※2015年度実績

契約口数 / 電灯 **12,709千口** 電力 **998千口**  
※2016年3月末現在  
※特定規模需要を除く

ガス・重油販売量 / **75万トン**  
※2015年度実績  
※LNG換算



## 国際事業

海外発電事業 / **7.9カ国** プロジェクトに参画  
※2016年3月末現在

海外発電設備容量 (当社出資割合) / **187万kW**  
内訳：火力発電 149万kW、水力発電 38万kW  
※2016年3月末現在  
※運転開始済みプロジェクト(6プロジェクト)の発電設備容量(当社出資割合)は122万kW

## グループ事業

情報通信事業 生活アメニティ事業 (不動産・暮らし関連)

グループ会社数 / **6社 12社**  
※2016年6月30日現在

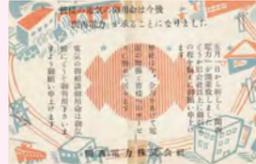
情報通信事業 生活アメニティ事業 (不動産・暮らし関連)

グループ事業における外販売上高 / **1,748億円 956億円**  
※2015年度実績

# 関西電力65年の あゆみ

## 1951

5月 電気事業再編に伴い、関西電力発足



## 1956

7月 黒部川第四発電所新設工事(大町ルート)着工

## 1957

原子力研究開発のため、「原子力部」発足  
5月 黒部川第四発電所建設用大町トンネルで  
断層破砕帯に直面(12月破砕帯突破)

## 1958

2月 黒部川第四発電所大町トンネル貫通

## 1970

7月 当社初の原子力発電所である  
美浜発電所1号機運転開始(34万kW)



7月 わが国初の純揚水発電所である  
喜撰山発電所1号機、2号機の運転開始  
(1号機・2号機共に23万3,000kW)

## 1973

10月 姫路第二発電所5号機運転開始  
(60万kW、計195万kW) コンピューターによる  
自動昇温昇圧採用、火力発電設備1,003万kWに

## 1976

5月 若狭幹線(里側)および西京都変電所の  
500kV昇圧工事竣工に伴い、  
500kV基幹系統完成、運用開始

## 1979

6月 姫路LNG施設営業運転開始

## 1991

2月 美浜2号機蒸気発生器細管破断事故発生

## 1992

3月 美浜2号機事故を教訓として原子力安全  
システム研究所を設立

## 1995

1月 阪神・淡路大震災発生、阪神地域を  
中心に震災直後約260万件停電(283.6万kW)  
153時間後に応急送電完了



12月 31年ぶりに電気事業法が改正され、  
卸電気事業等の規制が緩和

## 1996

1月 電気料金の値下げ  
初めて電気卸入札を実施

## 2000

10月 電気事業法が改正され、電力の小売部分自由化  
がスタート。届出による初めての電気料金の値下げ

## 2001

8月 最大電力更新(3,306万kW)  
11月 CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ給湯器「エコキュート」開発

## 2002

10月 電気料金の値下げ

## 2003

6月 全原子力発電所で定格熱出力一定運転導入完了  
7月 当社電力が「エコリーフ環境ラベル」認証取得

## 2004

8月 美浜発電所3号機二次系配管破損事故発生



8月 舞鶴発電所1号機営業運転開始  
当社初の蒸気タービンにクロスコンパウンド型採用

## 2010

3月 「関西電力グループ長期成長戦略2030」発表

## 2011

2月 冬季最大電力更新(2,665万kW)  
3月 東日本大震災発生  
9月 日本初の電力会社によるメガソーラーである  
堺太陽光発電所が全区画営業運転開始



## 2012

12月 当社グループ初の風力発電所である  
淡路風力発電所が運転開始



## 1961

3月 火力設備が水力設備の出力を上回る(火主水従へ)  
9月 世界初の気球工法による鳴門海峡横断送電線工事成功

## 1963

6月 7年に亘る難工事の末、黒四発電所竣工



## 1964

5月 当社初の揚水発電所である三尾発電所発電開始  
(3万4,000kW、1968年12月に1,500kW増加)

## 1966

夏季最大電力がはじめて冬季最大電力を上回る  
(夏季ピーク型へ移行)

## 1968

3月 姫路第二発電所4号機運転開始(45万kW、全機計135万kW)、  
超臨界圧初の2段再熱方式

## 1981

4月 電力業界で初めてTQCを導入

## 1984

11月 製造業・建築業以外で初めて  
デミング賞を受賞



## 1987

年度の販売電力量が1,000億kWhを  
超える

## 1989

12月 基幹系統給電所が全運開し、  
中央給電指令所「バックアップ体制」を確立

## 1998

2月 電気料金の値下げ  
12月 電力会社初の海外発電事業  
フィリピンの水力発電事業  
「サンロケプロジェクト」へ参画



## 2005

4月 電気料金の値下げ  
6月 「美浜発電所3号機事故再発防止対策の実施計画」発表

## 2006

4月 電気料金の値下げ

## 2007

3月 「関西電力グループ中長期計画」発表

## 2008

9月 電気料金の値下げ  
9月 美浜線No.21鉄塔事故発生  
9月 当社初の自社船「LNG エビス」が竣工



## 2009

7月 「電気ご使用量のお知らせ照会サービス」開始

## 2013

5月 電気料金の値上げ  
8月 姫路第二発電所新1号機が営業運転を開始  
新鋭の1,600℃級ガスタービンを用いた  
コンパインドサイクル発電方式への設備更新



## 2015

6月 電気料金の値上げ

## 2016

3月 「経営理念」「私たちの基本姿勢」  
「関西電力グループビジョン」「ブランドステートメント」策定  
4月 電力の小売全面自由化開始  
「関西電力グループ中期経営計画(2016-2018)」策定  
5月 当社創立65周年

# 会社概要

## 概要

(2016年3月末現在)

会社名	関西電力株式会社
所在地[本店]	〒530-8270 大阪市北区中之島3丁目6番16号
設立年月日	1951年5月1日
資本金	4,893億円
資産総額	6兆4,330億円(連結 7兆4,124億円)
発行済株式数	9億3,873万株
株主数	325,370名
売上高	2兆8,682億円(連結 3兆2,459億円)
販売電力量	1,275億kWh
従業員数	21,817名 ※在籍ベース

## 取締役および 監査役

(2016年6月28日現在)

取締役会長	八木 誠 <sup>*1</sup>
取締役社長	岩根 茂樹 <sup>*1</sup>
取締役 副社長執行役員	豊松 秀己 <sup>*1</sup> 香川 次朗 <sup>*1</sup> 土井 義宏 <sup>*1</sup> 八嶋 康博 <sup>*1</sup> 森本 孝 <sup>*1</sup>
取締役 常務執行役員	杉本 康 勝田 達規 湯川 英彦 井上 富夫 大石 富彦 白井 良平 井上 礼之 <sup>*2</sup> 冲原 隆宗 <sup>*2</sup> 小林 哲也 <sup>*2</sup>
常任監査役	神野 榮 田村 康生 樋口 幸茂
監査役	土肥 孝治 <sup>*3</sup> 森下 洋一 <sup>*3</sup> 楨村 久子 <sup>*3</sup> 十市 勉 <sup>*3</sup>

<sup>\*1</sup>は代表取締役  
<sup>\*2</sup>は社外取締役  
<sup>\*3</sup>は社外監査役

## 役付執行役員

(2016年6月28日現在)

常務執行役員	森中 郁雄
(注) 取締役兼務 執行役員を除く	彌園 豊一 片岡 正憲 山地 進 右城 望 島本 恭次 稲田 浩二 時政 幸雄 福田 隆

## 発電設備容量

(2016年3月末現在)

火力発電	12カ所	1,940.8万kW
水力発電	152カ所	822.5万kW
原子力発電	3カ所	892.8万kW
新エネルギー	3カ所	1.1万kW
合計	170カ所	3,657.3万kW

※自社発電設備のみ  
※四捨五入の関係で合計と一致しない場合がある

## グループ会社

(連結子会社および持分法適用会社) (2016年6月30日現在)

### 連結子会社 61社

<b>総合エネルギー事業</b>	(株)かんでんエンジニアリング
(株)関西エネルギーソリューション	(株)関電L&A
堺LNG(株)	関電サービス(株)
越前エナライン(株)	(株)ニュージェック
大阪バイオエナジー(株)	(株)日本ネットワークサポート
他3社	(株)原子力エンジニアリング
<b>情報通信事業</b>	他7社
(株)ケイ・オブティコム	<b>その他事業</b>
関電システムソリューションズ(株)	関電ジオレ(株)
他4社	ケーピック・ネザーランド
<b>生活アメニティ事業</b>	関電ベンチャーマネジメント(株)
関電不動産開発(株)	関電オーストラリア社
(株)クリアパス	関電ホールディングスオーストラリア社
かんでんEハウス(株)	関西双日エンリッチメント・インベスティング社
(株)かんでんジョイライフ	LNGエビス・シッピング社
(株)関電アメニックス	LNGフクロクジュ・シッピング社
関電ファシリティーズ(株)	LNGジュロウジン・シッピング社
関電コミュニティ(株)	ケーイーフェーエルインターナショナル(株)
(株)関西メディカルネット	(株)かんでんエルハート
(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ	関西電子ビーム(株)
他3社	他3社
<b>グループサポート事業</b>	<b>持分法適用会社 4社</b>
関電プラント(株)	<b>その他</b>
黒部峡谷鉄道(株)	日本原燃(株)
(株)原子力安全システム研究所	(株)きんでん
(株)環境総合テクノス	(株)エネゲート
(株)かんでんCSフォーラム	サンロケ・パワー
(株)関電オフィスワーク	
(株)関電パワーテック	
関電ビジネスサポート(株)	

## 組織図

(2016年6月28日現在)

